

独立行政法人国立病院機構函館医療センター
特定行為研修

2025 年度 募集要項



NHO
Hakodate Medical Center

指定研修機関番号：2101013

特定行為研修の概要

国立病院機構函館医療センターは、「社会正義に基づき、患者さんの自律性と福利を尊重・優先する医療プロフェッショナルとして、患者さんに寄り添い、生涯にわたるウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること）を実現するお手伝いをするため、最善を尽くします。」の理念のもと、急性期医療からセーフティネット分野の医療を担い、地域医療に貢献しています。

超高齢社会と医療を取り巻く環境が変化していくなかで、患者や地域住民が必要とする医療を安定的かつ継続的に提供していく上では、医療提供体制の充実・強化が必要不可欠です。また、医療の質を向上させ、維持するために、未来を担う医療人の育成は当院の責務と考えます。これらの使命を果たすべく、看護師特定行為研修を推進することとしました。

<研修理念>

国立病院機構函館医療センター特定行為研修（以下「本研修」という）は、チーム医療の要である看護師が、医療機関や在宅において患者や利用者の状態・状況を自律的に判断し、特定行為の実施も含めた適切な医療を提供することにより、これからの時代に望まれる医療に向けた役割を果たせることを目指します。なかでも、特定行為の実施にあたっては、研修後も自己研鑽を重ね、より安全で質の高い看護の提供を探索する姿勢を養うことを重視します。また、本研修は、地域包括ケアシステムの構築に貢献できる看護師の育成を、地域の医療機関とともに連携・協働して行っていくものとし、地域における医療人の育成に貢献します。

<研修目的>

医師の包括的な指示のもと、診療の補助（特定行為）が安全かつ医療倫理に基づき実施できる基礎的能力を養う。

<研修目標>

1. 多様な臨床場面において、対象の病態とその変化を迅速かつ包括的にアセスメントできる。
2. 多様な臨床場面において、必要な治療を理解した上で、対象の状態に応じた対処を導くことができる。
3. 多様な臨床場面において、患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実践できる。
4. 対象の問題解決に向けて、多職種の専門性を尊重し、効果的に協働することができる。
5. 自らの看護実践を検証し、判断力・技術力の向上及び標準化するための能力を身につける。

<研修内容>

1. 共通科目

No	科目名	時間数
1	臨床病態生理学	30時間
2	臨床推論	45時間
3	フィジカルアセスメント	45時間
4	臨床薬理学	45時間
5	疾病・臨床病態概論	40時間
6	医療安全	45時間
7	特定行為実践	
小計		250時間

* 共通科目は、講義・演習・実習（e-ラーニング）で構成されます。時間数には評価時間を含みます。

2. 区分別科目 外科系基本領域、栄養に係るカテーテル管理（末梢留置カテーテル管理）関連
動脈血液ガス分析関連

特定行為区分		時間数	実習 症例数
外科系基本領域	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	8	5
	創傷管理関連	27	5
	創部ドレーン管理関連	6	5
	動脈血液ガス分析関連	10	5
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	12	5
	感染に係る薬剤投与関連	30	5
	術後疼痛管理関連	9	5
小計		102	35
1	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置カテーテル管理）関連	10	5
2	動脈血液ガス分析関連	17	5

* 区分別科目は、講義・演習（e-ラーニング）、実習で構成されます。

区分別科目を履修するためには、共通科目の全科目に合格している必要があります。

* 外科系基本領域パッケージは、免除可となる特定行為（創傷に対する陰圧閉鎖療法、橈骨動脈ラインの確保、持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整）は履修できません。

<研修場所及び実習場所>

独立行政法人国立病院機構函館医療センター

共通科目・区分別科目の講義（e-ラーニング）は自施設で受講可

<研修修了要件>

- ・ 研修科目における出席時間が当該科目時間数を満たしたうえで、各科目に定める修了試験（筆記試験・実技試験・実習評価等）に合格すること。
- ・ 函館医療センター特定行為研修管理委員会において特定行為研修の修了が認定されること。
- ・ 特定行為研修修了後に修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出します。

<研修期間>

2025年4月1日（火）～2026年3月18日（金）の約1年

2025年4月初旬	開講式・ガイダンス、共通科目受講開始（e-ラーニング）
2025年6月～8月中旬	共通科目試験、演習
2025年8月下旬	共通科目修了
2025年9月～10月下旬	区分別科目受講開始（e-ラーニング）、区分別科目試験、演習
2025年11月初旬	区分別科目修了
2025年11月中旬	臨地実習開始
2026年2月上旬	臨地実習終了
2025年3月	修了式

<受講費用>

費 目	費 用	
	機構内に所属する者	機構外に所属する者
共通科目受講料	200,000	300,000
区分別科目受講料		
外科系基本領域	250,000	400,000
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置カテーテル管理）関連	21,000	30,000
動脈血液ガス分析関連	50,000	72,000

<研修中の必要経費>

- ・受講料以外に、学習に必要な参考書など書籍費用。
- ・研修のための宿泊及び交通費等は自己負担となります。
- ・自宅又は職場での e-ラーニングによる学習に必要なパソコン・タブレット、その他の通信機器等や通信料は自身でご準備下さい。

<その他>

- ・履修免除について
e-ラーニングを 5 年以内に履修し必要時間数を満たしている場合、共通科目に限り履修免除となります。
- ・看護職賠償責任保険の加入について
本研修の受講決定後は、開講式までに看護職賠償責任保険に加入して下さい。